



↑ボート競技のポスター原画は三刀屋高校3年高野寛子さんが作成しました



JR木次駅前、ボート競技の地元開催をPRする高校生(初回の昨年9月)



ボート競技
◇開会式 7月28日(木) 16時
三刀屋文化体育館アスパル(雲南市三刀屋町)
◇競技 7月29日(金)~8月1日(月)
◇会場 島根県さくらおろち湖ボート競技施設(尾原ダム湖/雲南市・奥出雲町)



※島根県東部は昔の出雲国。会場地周辺は、出雲国の南部であることから雲南地方又は奥出雲地方と呼ばれ、日本神話の三分の一を占める出雲神話のメッカです。

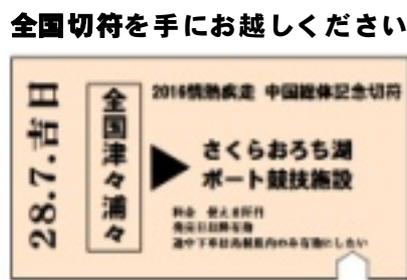
高校生活動(雲南・奥出雲地区)

出雲神話のふる里で 全国からのお客様をお迎えします
選手100名、監督・役員200名
雲南圏域(雲南市・奥出雲町・飯南町)5校の高校生が 競技運営もお手伝いします
先週末から今週末を中心に各都道府県で高校総合体育大会が繰り広げられ、まもなくインターハイボート競技の出場選手が確定します。大会準備にも熱が入ります。
本紙は大会期間中のレース結果だけでなく、全国から島根入りする皆様に、知って得する?会場周辺等の情報を事前にお届けしつつ、大会を盛り上げたいと思います。

2016 インターハイ 島根 ボート新聞 第1号

【発行所】ボート競技 高校生活動 雲南・奥出雲地区
<編集責任校> 間合せ先 三刀屋高等学校 〒690-2404 雲南市三刀屋町 三刀屋912-2 TEL: 0854-45-2721 FAX: 0854-45-5630

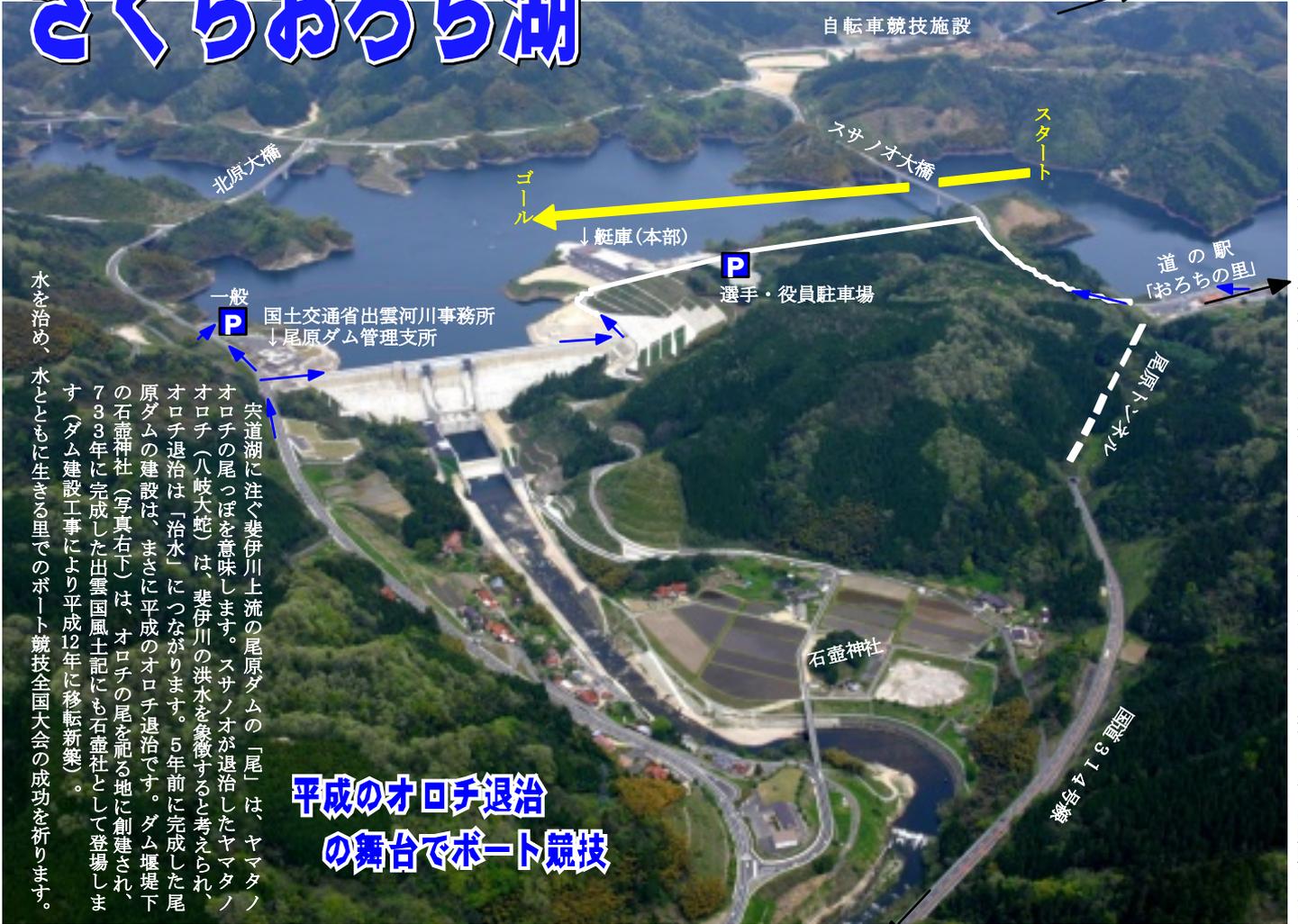
▼全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 全国高等学校体育連盟の主催で毎年8月を中心に開催されます。以前はほんどの競技を一県で単独開催していましたが、2004年に島根県を主会場に開催された「中国04総体」以後はブロック開催とし、今年度は岡山県を主会場に、中国ブロック5県で開催します。



さくらおろち湖

↓「写真提供：国土交通省 出雲河川事務所」

奥出雲多根自然博物館
佐白温泉方面



奥出雲町（三成・横田）→奥出雲おろち湖ループ（日本一のループ橋）→広島県庄原市方面

水を治め、水とともに生きる里でのボート競技全国大会の成功を祈ります。

宍道湖に注ぐ斐伊川上流の尾原ダムの「尾」は、ヤマタノオロチの尾っぽを意味します。スサノオが退治したヤマタノオロチ（八岐大蛇）は、斐伊川の洪水を象徴すると考えられ、オロチ退治は「治水」につながります。5年前に完成した尾原ダムの建設は、まさに平成のオロチ退治です。ダム堰堤下の石壺神社（写真右下）は、オロチの尾を祀る地に創建され、733年に完成した出雲国風土記にも石壺社として登場します（ダム建設工事により平成12年に移転新築）。

平成のオロチ退治の舞台でボート競技

木次・三刀屋（開会式会場）方面
松江道三刀屋・木次インターチェンジへ19km



後ろ向きに進む前向きな選手の競技です

ボート競技入門

（漕艇、端艇、競漕とも呼びます）



距離はいずれも1,000mです。ルール上、選手はどれか1種目しか出場できず、レース会場で配られる艇（配艇）を自分たちに合うように調整する「リギング」と呼ばれる作業も勝利への鍵を握ります。

今大会の種目（男女ともに）

距離 1,000m

- ◎舵手つきクォドルプル（4×+）
- ◎ダブルスカル（2×）
- ◎シングルスカル（1×）

全国的に中学校のボート部は少なく、多くは高校入学後から競技をスタートするようです。

ボート競技は本来、一人が1本のオールで漕ぐ「スイープ種目」と、一人が2本のオールを漕ぐ「スカル種目」とに分けられますが、インターハイでは男女ともに次の3種目が行われます。

- ①1人乗りの「シングルスカル」
- ②2人乗りの「ダブルスカル」
- ③4人の漕ぎ手にCOX（コックス、舵手）が同乗する「舵手つきクォドルプル」

平成28年度島根県高等学校総合体育大会

インターハイ 島根県予選



【女子】

- ◆シングルスカル 松江東(林)
- ◆ダブルスカル 江津工業(沖田・藤田)
- ◆舵手つきクォドルプル 松江東
(安達・下村・土江・金山・小堀)

【男子】

- ◆シングルスカル 江津工業(安本)
- ◆ダブルスカル 松江東(山口・吉原)
- ◆舵手つきクォドルプル 松江高専
(岩谷・久保田・寺戸・島谷・和田) ↓



5/28(土) さくらおろち湖ボートコース